



本社所在地 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-7-18 第2上野ビル  
設立年月日 2000年11月1日

導入システム  WEEDS DB-Trace DBアクセスログ取得ツール  WEEDS LogRepository-Manager 総合ログ管理マネージャー

## 「『データベースの種類を問わない。』その言葉に感動しました。」

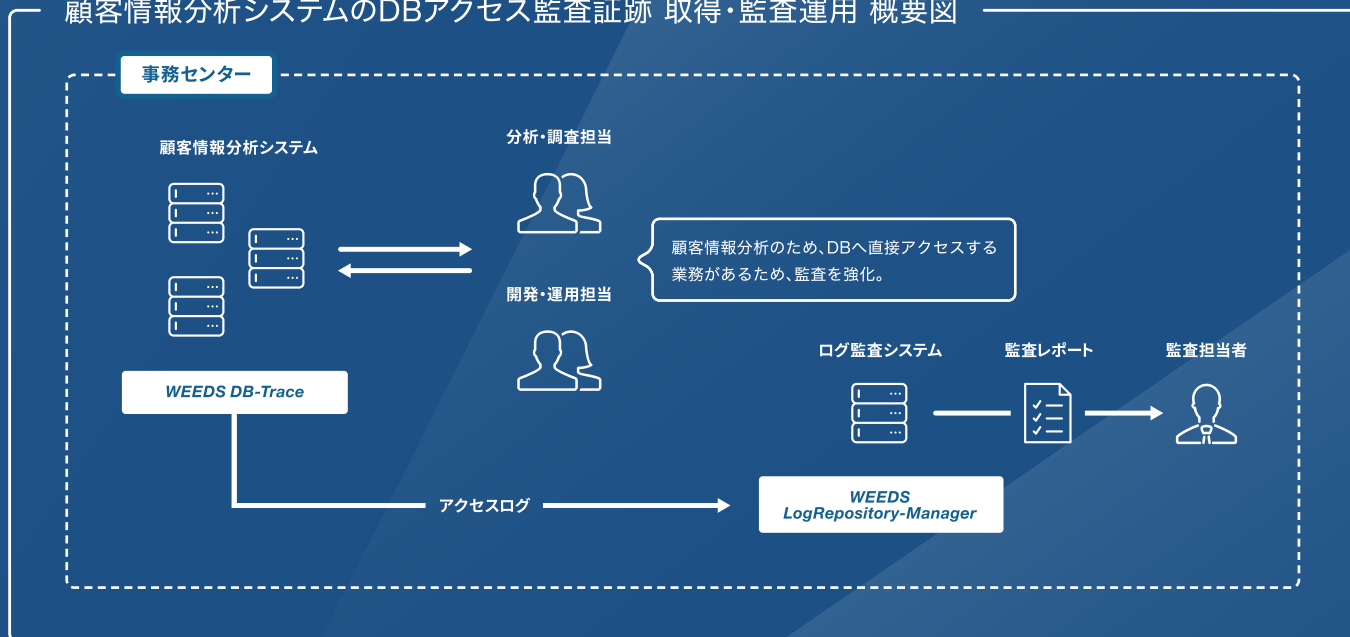
第二開発部 部長 石野 勉 様

**導入前の課題** 多数の人が利用する重要情報を含んだDBのセキュリティ強化をしたい。



**導入後の効果** 従業員に対するけん制効果が向上。  
監査を行っているかをさらに監査する二重監査機能を実現。

### 顧客情報分析システムのDBアクセス監査証跡 取得・監査運用 概要図



製品の詳しい情報はこちらへ [www.weeds-japan.co.jp/products.html](http://www.weeds-japan.co.jp/products.html)

## ○ 導入経緯

石野様「もともとは個人情報保護法の対応でログを全て取得するというコンセプトでした。総合経営管理システムは統合的なデータハウスであり、組織のデータが全て詰まっていて、多岐に渡る部門のユーザーがそのデータを利用して統計や集計を行っています。このような不特定多数の人間が利用するDBであるにも関わらず、これまでは取得したログを上手く監査に還元することが出来ませんでした。

監査の観点から、現状を打破する必要性があったので、レポートの充実した監査ツールを導入せねば、と検討いたしておりました。」

## ○ 目指す監査

石野様「まず、システム監査部門の方針として、正確でミスのない操作をするという目的からシステム開発担当と運用担当の分離を要求しています。また、運用部に対して出されたオペレーション依頼が何に基づいているか、異例的なオペレーションが行われた場合、それが正当な操作であるか、等の監査を遂行しています。

いずれに関しても、WEEDS DB-Traceを利用することにより、監査に十分対応できると考えております。」

## ○ 導入効果

石野様「システム部、運用部の二人体制で作業を行う現状から、第三者的要素としてWEEDS DB-Traceによる作業のログ取得を行い、運用担当者がそのログをチェックすることで、両者を分離して作業を行うというポリシーをクリアすることが出来たと思います。」

現在までにWEEDS DB-Traceによって不正を発見したということは、幸いありませんが、もし何か起こった場合にはすぐにログを確認できる点がよいと思います。

また、しっかりと監査しているという意味では、業員に対する牽制機能が働いていますね。

弊社内でも監査レポートがジャンル別にチェック出来るので非常に使いやすいと好評です。

## ○ WEEDSの製品に関して

製品に関しては、コストパフォーマンスがいいと思います。WEEDS社の技術力はほかと比較しても数段高いと感じますし、RDBMSに精通されているからこそ、『データベースは問いません、それがわれわれの役目なのです。』といった名言が出せると思います。DBの種類にこだわり無く、監査出来るものは全て監査しようという意気込みが伝わってきます。